

1 学年

## 総合略案 (1、2/50)

目的：総合的な学習（PBL 学習法）の授業の学習の流れを理解し、スムーズに取り組めるようになる。

本年度のねらいを全生徒・職員が意識して取り組めるようにする。

PBL 学習法の手法・総合的な学習の時間を実施するうえでの素地をつくる。

準備するもの：探究記録ノート・探究プログラム教科書・模造紙・GIGA 端末・プロッキー  
流れ（45分～50分）

時間	活動の流れ	留意点
15分	①探究記録ノート・探究プログラム教科書のとじ込み	
<b>本時のめあて 『探求』とはなにか考えよう</b>		
20分	②プログラム教科書第1章を教員主導で読み進める。 1 今起きている世界的な問題やニュースで見ているがどう解決すればいいかなど聞きながら、世の中には正解がない答えが多くあることに気付かせる。  2 P8のところで、youtube「正解のないクイズ予告編2分程度」を見せて自分なりの答えをもつことの良さ、楽しさに気付かせる。 (進め方は任せます)	→先生方にはご負担をおかけしますが第一章はよくお読みください。
20～30分	③探究プログラム教科書第2章を教員がファシリテーター（聞き取り役）になりクラス全員でウェビングしてみる。 1 テーマ例 『テスト』『夏休み』 教員が板書を進めていくと、生徒が自分にしか目を向けていないことがわかります。そこでP15手順4を読ませ、周りの人や社会の人たちが喜ぶことなのか考えさせ、再度ウェビングをする。  2 黒板の意見をもとにP14から読み進め手順でゴールやアウトラインなどを決めていくことを伝える。	→子どもたちに好きに意見を言わせてください。  →先生たちは伴走者で生徒が〇〇したいという希望ができ

15分	<p>④「明海の街」についてのイメージを共有する</p> <p>○以前採ったアンケート「明海の街についてのアンケート」の一部を紹介する。</p>	<p>るかどうか判断する役割だと伝える。</p> <p>→生徒が明海の街について好きだけど、永く住み続けたいとは思ってないことに気づかせる。</p>
<p><b>本時のめあて 明海の街再発見プロジェクトを考えよう</b></p>		
30分	<p>⑤「明海の街再発見プロジェクト」をスタートする。</p> <p>みんながこの街に住み続けたいと思える街にするためにはどうすればよいか前時のウェビングを活用して考える。</p>	<p>→模造紙を各班に配布し、自由に書かせる。</p>
10～20分	<p>⑥教科書P12を参考に大枠のテーマを決める。</p> <p>⑦各班発表（時間があれば）</p> <p>⑧記録ノートにある学習履歴図を記入させる。</p> <p>授業後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム教科書・ノートは総合ファイルにとじこませる。</li> <li>・模造紙は回収保管</li> </ul>	<p>→この時間では、P13の公式に当てはめる作業はしません。</p> <p>○実態に応じて、先生方が意見を入れてもいいかもしれませんが（すぐに答えが見つかってしまいそうなもの・調べていてワクワクしなそうなもの）</p> <p>★放課後子供たちから出たテーマを学年で検討し、その後、意見をしてもいいかもしれないです</p>

1 学年

### 総合略案 (3. 4. 5/50)

- 目的： 1 前時で決めた大枠のテーマを公式にはめてテーマ完成  
2 探求記録ノートを使い、企画書を完成させる  
3 PBL 学習法の手法・総合的な学習の時間を実施するうえでの素地をつくる。

準備するもの：探求記録ノート・探究プログラム教科書・模造紙・GIGA 端末  
流れ (45分～50分)

時間	活動の流れ	留意点
5分	①前時の確認 (何をしたか、どんなテーマにしたかなど) ※各班の発表をここで行って良いかもしれません。	→前回使用した模造紙は授業前に配布してください
<b>本時のめあて      テーマ完成・企画書を完成させよう</b>		
ここからは3時間分確保しています。進捗は各班で異なる	②記録ノートを用意させ、各班で話し合いを行い、決定していく。 <b>指導の注意点</b> (テーマに関して) ・すぐに答えが見つかってしまいそうなものではないか ・調べていてワクワクしなそうなものではないか ・自分にとってどんないいことがあるか ・周りや社会にとっていいことなのか  (調査に関して) ・調べる必要がないものはほかにないか ・簡単に調べて終わるような調査ではないか ・子供たちから自発的に、専門家・地域の方・普段では聞けなそうな人に聞きたいと思えるような調査内容になっているか (学校支援コーディネーター須田さんにアプローチしてもらいます)  (プロジェクトの計画について) ・現段階で15時間調査検証の時間があること、調査内容をまとめたり作成したりする時間が10時間あることを伝えて計画させてください。 →例として外に出て実際に聞きに行ったり、呼びして	★Teams内 各クラス→総合→ファイル→○班企画書 を作りましたので班で1名入力させてください。 (学年職員が共有添削できるため。) 坂下も見させていただきます。

インタビューしたり、学校から電話をかけて聞いたり、質問を手紙で郵送して返信をもらったりもできます。

**③記録ノートにある学習履歴図を記入させる。**

授業後

- ・プログラム教科書・ノートは総合ファイルにとじこませる。
- ・模造紙は回収保管

# 明海中学校探究 記録ノート

プロジェクトタイトル

年 組 番氏名 \_\_\_\_\_



**5、疑問に思うこと、調査する必要があることを書き出そう**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**6、専門家やプロジェクトに関連するの方からどのように聞くか、どのような内容を聞くか。**

.....

.....

.....

**7、活動の順序を考えて、プロジェクトの計画を立てよう**

(このプロジェクトの時間 時間)

①	.....	( 時間)
②	.....	( 時間)
③	.....	( 時間)
④	.....	( 時間)
⑤	.....	( 時間)
⑥	.....	( 時間)
⑦	.....	( 時間)
⑧	.....	( 時間)
⑨	.....	( 時間)
⑩	.....	( 時間)

**8、どの教科とつながりがあるか(プロジェクトの関連性)**

.....

.....

.....

**9、担任サイン・関連する教科担任のサイン(コメント等)**

.....

.....

.....

**このページはウェビングなど思考ツールを使って、仲間とプロジェクトのテーマやゴールを考えるページです。**



# 生きるために必要な力

3つの力	評価の観点	具体的な力
自律	自分にとって大切な問題を見つける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆物事を比べて、どんなちがいや関係があるのか考える。</li> <li>◆いろいろな人との関わりを通して問題を発見する。</li> </ul>
	見通しを立て、計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目標を設定する。</li> <li>◆計画を立てる。</li> </ul>
	自分のやってきたことをふり返し、調整する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目標に照らして、計画の進み具合をチェックする。</li> <li>◆計画の進み具合に応じて必要な調整を行う。</li> </ul>
活用	言葉、数、図表などを効果的に活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いろいろな人と関わって情報を収集する。</li> <li>◆言葉や数や図を使って効果的にまとめる。</li> <li>◆適切に表現・発表する。</li> </ul>
	知識や情報を効果的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目的に応じて情報を収集する。</li> <li>◆教科で得た知識を活用する。</li> <li>◆知識と情報を整理する。</li> </ul>
	技術を効果的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆機器(コンピュータ、ビデオ、カメラなど)を活用して情報を収集する。</li> <li>◆機器を活用して効果的に表現・発表する。</li> </ul>
協働	互いに考えや意見を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の意見や考えをわかりやすく相手に伝える。</li> <li>◆相手の意見や考えをしっかりと聴く。</li> </ul>
	相手のことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆他の人の考えを受け入れる。</li> <li>◆他の人の立場に立って状況を想像する。</li> </ul>
	自分の力を発揮して協力する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆異なる意見も大切にして決定する。</li> <li>◆問題解決や探究活動を協同して行う。</li> </ul>

# 学習履歴図

プロジェクトのゴール

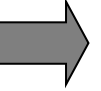
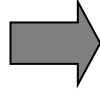
身に付けたい力

活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

.....

活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

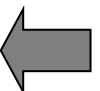
.....



活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

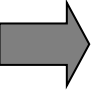
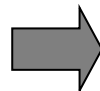
活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

.....



活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

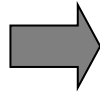
活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

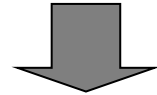
月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

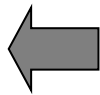
月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

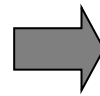
月 日

.....

活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

月 日

# プロジェクトを振り返って

A large rectangular box with a solid black border, containing ten horizontal dotted lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the box, providing a structured area for text entry.

令和 7 年度

# 明海中学校探究 プログラム教科書

年 組 番氏名\_\_\_\_\_

# 第1章

## 総合的な学習の時間とは

総合的な学習の時間とは…

**答えが簡単に見つからない問題**

に取り組んで

**生きるために必要な力**

を身に付け

**自分の生活や生き方を広げる**

ために学ぶ時間です



## 「答えが簡単に見つからない問題」とは

- ◎答えがひとつとは限らない問題
- ◎ひとつの問題をクリアすると次の課題が出てくる問題
- ◎いくつかの教科を組み合わせないと解決できない問題
- ◎ひとりでは解決できない問題

などのことです。

## 「生きるために必要な力」とは

- ◎自律～自分の考えや方法で学習を進める力～
- ◎活用～道具(言葉・知識・情報・技術)を活用して学習を進める力～
- ◎協力～みんなと協力して学習を進める力～

などのことです。

## 「自分の生活や生き方を広げる」ためには

- ◎本当に大切なことをみつけること
- ◎めあてをもち、ふり返りながらくり返し学ぶこと
- ◎希望をもち、夢をかなえるために学び続けること

などが大切です。



# 答えが簡単に見つからない問題とは・・・

総合的な学習の時間では、「答えが簡単に見つからない問題」に取り組みます。  
「答えが簡単に見つからない問題」とはどのような問題なのでしょう。

## ①「答えがひとつとは限らない問題」

世の中にある様々な問題は、答えがひとつとは限りません。いろいろな方法があるもの、どれを選んでも正しいと思われるもの、なかなか答えが見つからないものなどいろいろです。

たとえば、「きれいなまちにするためには」という課題では、次のような解決方法が考えられます。

- ・花を植えてきれいなまちにしよう
- ・みんなでゴミ拾いをしてまちをきれいにしよう
- ・トンネルの壁に絵を描いてきれいなまちにしよう

このようにいろいろな答えが見つかります。簡単には解決できないことに、しっかり向き合い、自分で取り組むべき課題を見つけることが大切です。

## ②ひとつの課題をクリアすると次の課題が出てくる問題

たとえば、上の課題で「花を植えてきれいなまちにしよう」を選んだとします。すると次のような新しい課題が生まれてきます。

- @花を植えたけど、この花はいつまで咲いているんだろう？
- @花を植えた後の水やりはどうしていけばいいんだろう？
- @肥料とかは必要ないのかな？
- @自分たちが卒業した後、この花は誰が世話をしていくのだろう？

このようにとことん追究する学びを「探究的な学び」といいます。

### ③いくつかの教科を組み合わせないと解決できない問題

問題を解決していく中で、「ああ、教科で学んだことはこうやって使うんだ」という発見があるでしょう。また、いくつかの教科で学んだことを組み合わせないと解決できない問題もあります。たとえば、先ほどの課題では、次のようなことを考える必要があります。

- @花を植える花壇の大きさや必要な土の量(数学)
- @花の咲く時期や育て方(理科)
- @色の組み合わせによる効果(美術)
- @植えた花を紹介する札の作成(国語・英語・技術家庭)

いろいろな教科で学んだことを活用して、粘り強く解決しようとするのが大切です。

### ④1人では解決できない問題

身近な地域社会の課題を解決しようとするときに、1人では解決できない問題がたくさんあります。同じ課題を持つ人とチームを組み、お互いの考えや意見を出し合い、見通しや計画を確かめ合いながら進めると、1人ではできない大きな課題を解決できます。みんなの考えを受け入れ、自分の得意なことを引き受けて問題の解決や探究活動を協同で行うと、新しいものを生み出す大きな力になります。

# 「生きるために必要な力」とは

総合的な学習の時間で身に付ける「生きるために必要な力」とは、次のような力のことです。

## 自律～自分の考えや方法で学習を進める力～

- ・自分にとって大切な問題を見つけることができる
  - ・見通しを立て、計画を立てることができる
  - ・自分のやってきたことをふり返り調整することができる
- などのことです。

## 活用～道具(言葉・知識・情報・技術)を活用して学習を進める力～

- ・言葉、数、図表などを効果的に活用することができる
  - ・知識や情報を効果的に活用することができる
  - ・技術を効果的に活用することができる
- などのことです。

## 協力～みんなと協力して学習を進める力～

- ・互いに考えや意見を出し合うことができる
  - ・相手のことを考えることができる
  - ・自分の力を発揮して協力することができる
- などのことです。

# 「自分の生活や生き方を広げる」とは

自分の生活や生き方を広げるためには、次のようなことが大切です。

## 自分や社会にとって本当に大切なことを見つけること

自分自身を振り返ってみたり、自分の住んでいるまちや身のまわりの人々に目を向けたりしてみましょう。そして、「こんなふうになるといいな」とか「もっとこうしたい」と思う事があれば、実現できるように努力しましょう。きっとそれが、あなたにとって「本当に大切なこと」になるでしょう。

## めあてをもち、振り返りを繰り返し学ぶこと

ものごとを実現するためには、めあてをもち、ふり返りながら(内省)、よく考えて(熟考)、次に何をすればいいかをはっきりさせる(反映)ことが大切です。めあてにどのくらい近づいたかを楽しみながら、いろいろな問題にチャレンジしましょう。

## 希望をもち、夢を叶えるために学び続けること

総合的な学習の時間にチャレンジすることを通して、将来の夢やつきたい仕事が見つかったらうれしいです。いろいろなことにチャレンジして、自分の新しい力やそれを実現するための自信をたくさん身につけましょう。

# **第2章**

## **PBL 学習法の進め方**

# テーマを決めについて

プロジェクトとは、「頭と手と心」を使って、問題を解決したり、成果を出したり、ものをつくったりすることです。最初の作業は、「テーマを決める」と「アウトラインを描く」の2つです。

この2つは、両方を行ったり来たりしながら同時に進めるとよいものになります。以下に標準的な手順を示しますので、参考にしながら進めましょう。

## 手順①

### 話題や題目を選ぶ。

- ・あなたが、今、興味をもっていることはなんですか？
- ・あなたが、今、関心をもっていることはなんですか？
- ・あなたが、今、やってみたい、調べてみたいと思っていることはなんですか？
- ・あなたが、今、身の回りや社会のことで気になっている問題がありますか？
- ・よいトピックを選ぶことが、よいプロジェクトにするための第一歩です。

話題・題目=今、自分にとって最も興味や関心があること

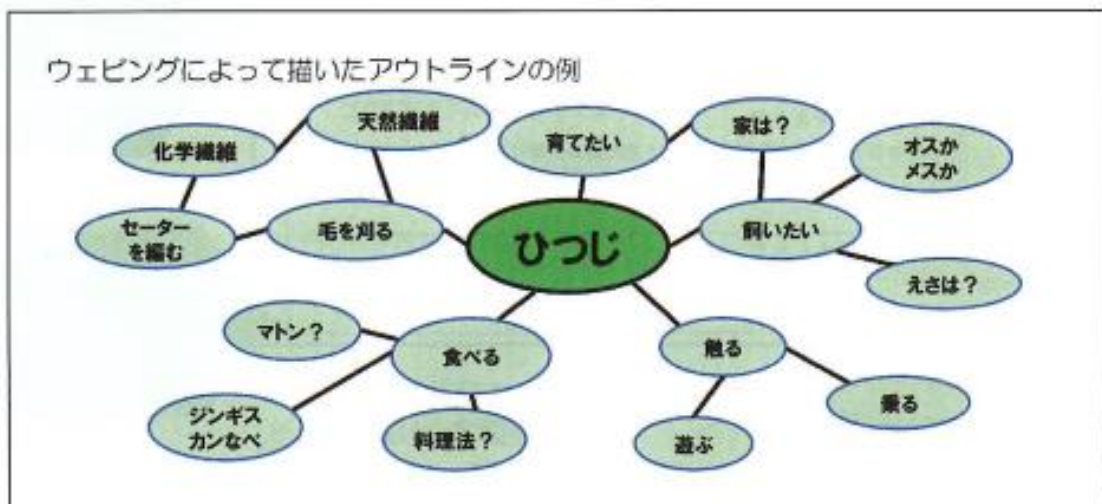
## 手順②

# ウェビングでアウトラインを描く

次は、「プロジェクトのアウトライン」を描きます。これは、プロジェクトに関係することがら全体を描き出す作業です。その一例として、「ウェビング(くもの巣)」という方法を紹介します。

ウェビング=連想ゲームのように自由にアイデアを広げる方法

下の図は、「ひつじ」をトピックに選んだ場合のウェビングです。思いついたことを加えていきます。これを参考にして、一人でまたはグループでチャレンジしてみましょう。

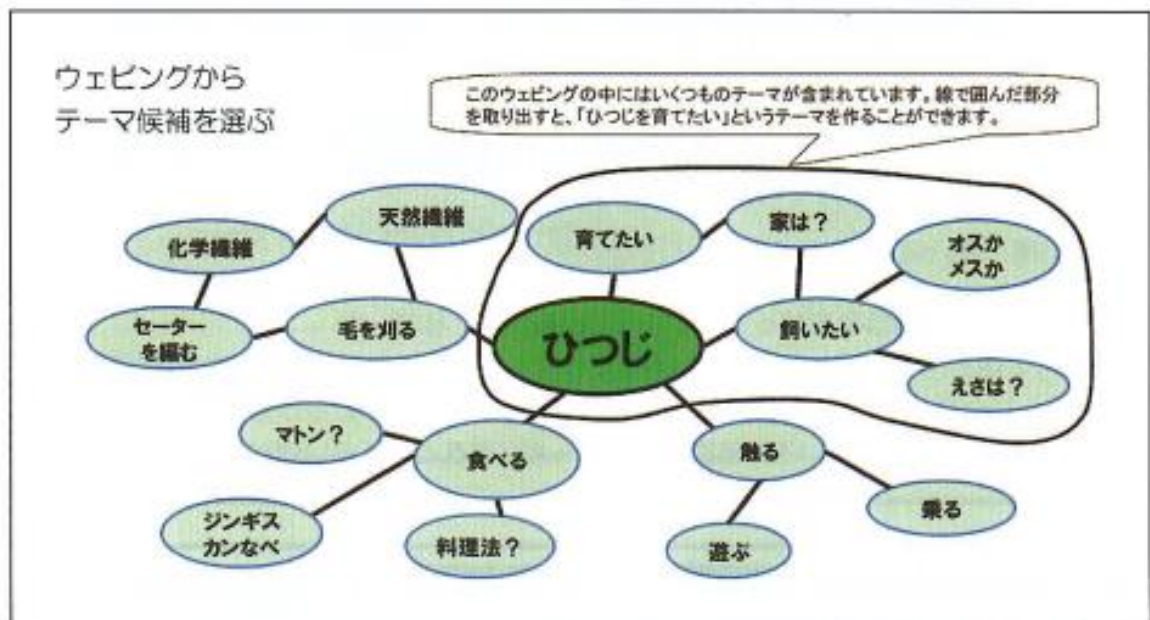


## 手順③

# テーマの候補を選ぶ

ウェビングをしてアウトラインが見えてきたら、どんなテーマにするか決めましょう。ウェビングの中には、テーマの候補がたくさんあります。この中から、あなたが「やってみたい」「あきらめずに最後まで取り組めること」などと思うことを取り出しましょう。

図では、いくつかの候補の中から「ひつじを育てたい」を選んだことにこのウェビングの中にはいくつものテーマが含まれています。線で囲んだ部分を取り出すと、「ひつじを育てたい」というテーマを作ることができます。



## 手順④

### 公式にあてはめてテーマを完成させる

よいテーマにするためには、公式があります。基本は、「何を(トピック)」+「どうしたいか(活動)」の組み合わせです。この公式をもとにすると、さらに次のような公式も考えられます。

#### LV1⇒「話題・題目」+「活動」

例)・ひつじを育てよう

・ひつじの毛を刈ってセーターを作ろう。

#### LV2⇒「形容詞+話題・題目」+「活動」+「副詞+活動」

例)・丸々太ったひつじに育てよう

・羊が寒くないような家を造ろう

#### LV3⇒自由に組み合わせ、工夫する

例)・柔らかい羊の毛を使って、みんなが喜ぶようなセーターを編もう

・街の街路樹の根本に花を植えて明るくしよう

# プロジェクトのゴール設定や探究の進め方

## 手順①

### ゴールを決めよう

ゴールがはっきりしていると、自分の位置が分かり、プロジェクトの進み具合が変わります。プロジェクトが終わったときに、全体を振り返るのにも役立ちます。できるだけ具体的にゴールを決めて振り返りながらプロジェクトを進めましょう。

**ゴール＝「何がどうなればよいか」を決めたもの**

**おすすめの表現: ○○が□□したらゴール**

(よい例・悪い例)

- みんなでひつじを飼って、赤ちゃんが産まれたらゴール
- ごみひろを呼びかけて、参加者が 100 人になったらゴール
- ×プロジェクトが成功したらゴール(どうなれば成功したかが分からない)
- × テーマについていろいろ調べたらゴール(何をどのくらい調べるかが分からない)

## 手順④

# プロジェクトの意義を考えよう

自分で好きなことに取り組むと、自分にとってはいいことがたくさんあります。でも、それが周りの人や自分の町、さらに社会の役に立てば、取り組む価値はもっと大きくなります。

次の2点を考えながらテーマを選ぶとよいでしょう。

### 1.自分にとってどんないいことがあるか

### 2.まわりの人や社会にとってどんないいことがあるか

(例)テーマ:ブレイクダンスの歴史と技を調べる

自分にとって→好きなブレイクダンスについてくわしくなる

みんなにとって→ブレイクダンスのおもしろさをみんなが分かる

テーマ:まちの商店街のマップを作る

自分にとって→インタビューによって商店街の人と知り合いになれる

みんなにとって→商店街に大勢の人が来るようになりまちが栄える

## 手順⑤

### 疑問に思うこと、調べる必要があることを書き出そう

ゴールを達成するために、調べることを書き出します。  
この段階は、どれから始めるかの順番については気にせずに思うことをどんどん挙げていきましょう。また、この段階で立てた計画は変えられないものではなく、活動の途中で変えてもいいのです。

〔例〕 街路樹の根もとに花を植えて、まちを明るくしよう

- ・図鑑などで花の種類、咲く時期、色、値段などを調べる
- ・花の苗を買う
- ・土を耕し苗を植える
- ・いっしょに世話をしてくれる人をさがす
- ・花の値段を確かめ、予算を立てる

※最初に行ったウェビングの中にもヒントがたくさんあります。

## 手順6.

### 実在の人物から入手する情報の内容と方法を考えよう

プロジェクトを進めるためには、できるだけたくさんの情報を集める必要があります。情報を集めるためには、インターネットや本を使うこともできますが、自分たちだけのオリジナルな情報を集めるためには、プロジェクトに関連するの人物に直接会って情報を集めることが大切です。

#### 地域の人々や詳しい方などに会って情報をいただこう

(活動例) 街路樹の根もとに花を植えて、まちを明るくしよう

- ①町の人にどんな花が好きかアンケートする  
⇒歩いている人を書いてもらう。
- ②花の値段を確かめる  
⇒花屋さんに行って店の人に聞く
- ③町の開発の予定について調べる  
⇒市役所に行って担当の人にインタビューする

#### POINT

- ※電話でインタビューするときは、次のことに気をつけましょう。  
「〇〇中学校の△△と申します。～～のことについておたずねしますが、  
今よろしいですか」\*最初に自分の名前を伝える
- ※電話をかける前に用件をメモしておく
- ※敬語を使ってていねいに話す※メモを取りながら聞く
- ※終わったらお礼を忘れない

## 手順7

### 活動の順序を考えて、プロジェクトの計画を立てよう

プロジェクトのゴールに向けて、どのような順番で進めていけばよいかを考えます。そしてプロジェクトのために使える時間を頭に入れて、おおよその時間配分を考えます。

### 活動の順序と時間配分を考えて、途中で修正もあり

例)「街路樹の根もとに花を植えて、まちを明るくしよう」プロジェクトの場合

#### ☆活動例☆

このプロジェクトは、合計(10)時間の学習です	
① 図鑑・本などで花の種類・咲く時期・色などを調べる	(1時間)
② まちの人にアンケートをして、みんなが好きな花を確かめる。	(1時間)
③ 花屋さんに行き、花の値段を確かめる	(3時間)
④ 花の世話を手伝ってくれる人を探してリストを作る	(2時間)
⑤ 花を買い、みんなで植える	(2時間)
⑥ 花に水をやって世話をする	(毎朝1時間)

## 手順 8

### 教科学習とのつながりを考えよう

プロジェクトは、教科で学習したことを生かすとより確かなものになります。また、プロジェクトを進めていくと、教科で学習することをプロジェクトで学ぶこともできます。

**プロジェクト** ⇔ **教科の学習**

(例)「街路樹の根もとに花を植えて、まちを明るくしよう」プロジェクトの場合

**理科**(種類や育て方を調べる)、**美術**(色の配置を工夫する)、**数学**(面積を計算する)、**国語**(紹介文作成)

## 手順 9

### 先生(伴走者)のサインをもらおう

企画書が完成したら、先生からサインをもらいましょう。皆さんがどんなプロジェクトに組んでいるかを知っておいてもらえば、アドバイスや協力、専門家などを紹介してもらうことができます。

先生からのサインは、できるだけ複数の先生からいただきましょう。

**第3章**  
**プロジェクトを成功させる秘訣**  
**&**  
**振り返りシートの記入について**

# プロジェクトを成功させるための秘訣

プロジェクトを成功させるために一番いい方法は、プロジェクトに何回もチャレンジしてみる事です。

でも、ただひたすらチャレンジするだけではなく、次のようなことを考えておくと上達の速度は速くなります。

## ①見通しをもつ

右の図は、「探究のサイクル」を示したものです。ひとつのプロジェクトは、4つのステップによって組み立てられることを示しています。次のプロジェクトに取り組む時は、またこのサイクルをくり返して上達します。このような見通しをもつことが大切です。

このログブックで紹介した「企画書」は、このサイクルがきちんと踏めるよ整理・分析うに構成してあります。

## ②「なぜ?」と考えること

すぐれた追究は、「なぜ?」と疑問をもつことから出発します。この「なぜ?」という疑問に答えられるように、情報を集め整理して自分なりの解答を見つけるようにします。また、追究の途中で次々に新しい疑問が生まれることもあります。それは、追究が深まっている証拠なのです。

## ③仮説を立てて検証する

「〇〇すれば A ムになるだろう」という見通しのことを「仮説(または仮定)」といいます。理科の実験などで、皆さんも仮説を立てることを経験しているはずです。そして、仮説のとおりになったかどうかを確かめることを「検証」といいます。この「仮説—検証」というしくみを取り入れることによって、科学は大きく進歩しました。

プロジェクトに慣れてきたら、この考え方を取り入れ、「こうすればよいだろう」という仮説を立て、「本当によかったか」を検証するようにするとよいでしょう。

(例)・川の水は、下流になればなるほど汚れが増すだろう

- ・お年寄りには、物をプレゼントをするより、話し相手になる方が喜んでもらえるだろう
- ・街路樹に植える花のアンケートをとれば、世話の協力をしてくれる人が増えるだろう

# プレゼンテーションで成功するためのコツ

プレゼンテーションは、自分たちのプロジェクトの成果を大勢の人に伝えるチャンスです。特に、次の点に注意して準備を進めるとよいでしょう。

- ・何を伝えたいか⇒[例]まちのことを本気で考えたこと
- ・だれに伝えたいか⇒[例]このまちに住む大人の人たちに
- ・何のために伝えたいか⇒[例]みんなでまちをきれいにするために

上の3つが決まったら、どんな方法で伝えるかを考えます。プレゼンテーションでは、パワーポイントを使って説明することがよく使われますが、伝える内容に応じていろいろな方法が考えられます。会場の広さや観衆の人数なども考えながら、最もよく伝えられる方法を工夫しましょう。

## 〔プレゼンテーションの方法の例〕

- ・パワーポイントを使って説明する
- ・完成した作品を見てもう(エキジビジョン)
- ・分かったことを劇や演技で表現する(パフォーマンス)
- ・ポスターや新聞にまとめて紹介する(ポスターセッション)
- ・体験してもらう(触ってもらう、味わってもらう など) など

## おすすめ

プレゼンテーションが終わると、最後に全体のふり返しをしてプロジェクトはひとまず終わりになります。したがって、プレゼンテーションは、聞いてくれた人から振り返りのためのデータをいただくチャンスと見ることができます。そのために、「プロジェクトのゴール」と関係づけて、「プレゼンテーションの評価規準」を用意して配っておくとよいでしょう。プレゼンテーションが終わったら記入していただいた用紙を集めて、プロジェクトのふり返しに役立てます。

# プロジェクトで意識をすること (生きる力を形成する)

生きるために必要な力(例)

3つの力	意識すること	具体的な力
自律	自分にとって大切な問題を見つける。	◆物事を比べて、どんなちがいや関係があるのか考える。 ◆いろいろな人との関わりを通して問題を発見する。
	見通しを立て、計画を立てる。	◆目標を設定する。 ◆計画を立てる。
	自分のやってきたことをふり返り、調整する。	◆目標に照らして、計画の進み具合をチェックする。 ◆計画の進み具合に応じて必要な調整を行う。
活用	言葉、数、図表などを効果的に活用する	◆いろいろな人と関わって情報を収集する。 ◆言葉や数や図を使って効果的にまとめる。 ◆適切に表現・発表する。
	知識や情報を効果的に活用する。	◆目的に応じて情報を収集する。 ◆教科で得た知識を活用する。 ◆知識と情報を整理する。
	技術を効果的に活用する。	◆機器(コンピュータ、ビデオオ、カメラなど)を活用して情報を収集する。 ◆機器を活用して効果的に表現・発表する。
協働	互いに考えや意見を出し合う。	◆自分の意見や考えをわかりやすく相手に伝える。 ◆相手の意見や考えをしっかりと聴く。
	相手のことを考える。	◆他の人の考えを受け入れる。 ◆他の人の立場に立って状況を想像する。
	自分の力を発揮して協力する。	◆異なる意見も大切にして決定する。 ◆問題解決や探究活動を協同して行う。

## 評価をしながらプロジェクトを進めよう

山登りは、自分で行先を決め、地図やコンパスを使って自分の位置を確かめながら、ゴールに向かって進んでいきま評価も、山登りと似ています。ゴールに到達するために、「生きるために必要な力」を使って自分の位置を確かめながら、ゴールに向かって進みます。それが総合的な学習における評価の考え方です。

### 評価の手順

プロジェクトの企画書を作成したら、以下の手順で評価を行っていきましょう。

#### 到達基準を設定する

- ①「身につけたい力」を選ぶ(意識するだけで)  
このプロジェクトを行うことで、伸ばすことができそうだと、伸ばしたいと思うことを『具体的な力』の中から選ぶ(多くても3つまで)。
- ②現在の自分の状態を見つめる  
学んだ力について、現在の自分がどういう状態にあるかを見つめ、「学習前」に書く。
- ③目標のレベルを設定する  
選んだ力をどこまで伸ばしたいかを考える。



#### 活動をふり返りながらプロジェクトを進める

プロジェクトのゴールや身につけたい力をもとにして、その日の活動をふり返り、『学習履歴図』に記入していく。



#### プロジェクトが終わったら、プロジェクト全体をふりかえる

- ①プロジェクトが終わったら、身につけたい力をどれだけ伸ばすことができたかを考え、『成長の足跡』の『プロジェクトを終えて』の欄に書く。
- ②プロジェクト全体をふり返って、思ったことや考えたことを『プロジェクト全体をふり返って』に書く。



## 第1学年A組 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 教諭 富本 一平(T1)  
クラス・教科支援教員  
大島 初美(T2)  
場 所 1年A組 教室

1 単元名 明海の街再発見プロジェクト

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、本校の全体計画に示した探究課題「明海の街の魅力とは何だろう」に基づき設定した、小学校では、社会科で学区や地域について学習し、教科書や副読本で学習したり、町探検に出かけたりすることで、土地の特徴や地域性、伝統的な建物や祭りなどについて学習してきた。中学校では、生徒会活動やボランティア参加などで地域にどのように関わっていくか考え実践してきた。

本校では、総合的な学習の時間の重点目標を「自ら探究活動を進める資質・能力の育成～ プロジェクト型学習 (PBL) を核として～」とし、生徒の探究活動に進んで取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるよう、生徒の「知識及び技能」「思考力, 判断力, 表現力等」「学びに向かう力, 資質・能力の育成」を目指している。本単元においても、「総合的な学習の時間」を第1学年の実態を踏まえ、体験的な活動や様々なひと・もの・こととふれあう学習を中心として、「探究的な学習のよさ」を味わい、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

自分の身の周りから社会に関わるプロジェクトを自分達で企画し、実践する「プロジェクト型学習」を進めるうえで、社会参画の意識をより一層高められる単元としていく。

学習教材となる「ふるさと」である浦安市は、元町・中町・新町と市が3つの地域に分かれている特徴をもつ。全国的にも有名なテーマパーク施設があるため、地域のよさとしてテーマパーク施設の名前を答える生徒が多い。全国的にも有名な観光地であるため、市そのもののよさが見えないこともある。しかし浦安市には、昔から伝統的な祭神社があり漁師町として歴史のある元町や、市の政治の中心となり、大きな図書館などが集まっている中町、そして埋め立て地のよさを生かした広くて安全な道路や生徒が楽しく遊ぶことができる公園が多くある新町と、それぞれ特徴的な地域が1つの市に顕在している。小さくて新しい市であるが、様々な特徴があり、知れば知るほど面白い特徴がある。本単元においては、自分たちが住む地域の良さをより深く知り、自分が生活する明海地区の良さを再認識していく。総合的な学習の時間を中心として、教科横断的に市のよさを自分自身で探究し、見出していく活動し、探究的な学習のよさを感じながら、さらに自分の住む町を好きになる単元として、展開していく。

また、本単元は、地域のよさについて深く学ぶことで、2年時の単元「人にとってふるさととは何か」「地域にとって祭りとは何だろう」ともつながる単元である。本単元では通して、市のよさを感覚ではなく事実や根拠をもとに考えてまとめ・表現できるように学習を進める。次の単元では、地域の課題や発展に目に向けたプロジェクトの企画・実践を地域に社会参画していこうとする意識を高められるように、3年間を通したプロジェクトとなるように、学びをつなげていきたい。

また、プロジェクト型学習において、社会参画の意識をより高めることができる評価方法（ルーブリックを用いた評価）を取り入れることで、社会参画の意識が高まり、より自分の成長に気付くことができるような評価方法を工夫していく。総括型評価よりも、教師は生徒の伴走者となり、導く形成的な評価に重点を置き、生徒が自己評価型、形成的評価、診断的評価をし、教師からの的確なフィードバックをしたりする。

【単元の系統】（「浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムの指針」より）

就学時前	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の良さや得意としていること、また興味・関心を持っていることなどに気づく。</li> <li>・ 友達と共通の目的に向かって考えを出し合ったり、工夫しあったりして、協力してやり遂げ、達成感や充実感を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実社会や実生活から課題を発見する。</li> <li>・ 情報を収集、蓄積する。</li> <li>・ 課題解決を目指して考える。</li> <li>・ 学び方を振り返り、学習や生活に生かそうとする。</li> <li>・ 他者と協力して課題を解決する。</li> <li>・ 課題の解決に向けて地域の活動に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実社会や実生活、地域等の中から課題を発見し、設定する。</li> <li>・ 手段を選択し、情報を収集する。</li> <li>・ 課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える。</li> <li>・ 他者と協力して課題を解決する。</li> <li>・ 課題の解決に向けて地域の活動に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する。</li> <li>・ 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。</li> <li>・ 課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える。</li> <li>・ 互いの特徴を生かし、協働して課題を解決する。</li> <li>・ 課題の解決に向けて社会活動に参画する。</li> </ul>					

これまでに生徒は、小学校で社会科や国語科の学習と連携しながら、小学校3年生で浦安地域について学び主体的な「課題設定」ができるようにしてきた。4年生では、

千葉県について学習し、さまざまな活動を行いながら「体験的情報収集」を大事にしてきた。5年生ではさらに視野を広げ、世界で起きている諸問題について学習し、自らが学習してきた内容を「誰に」「どのように伝えるか」を考え、その準備の中で「情報の整理・分析・考察」の方法を学んできた。

さらに、生徒は低学年時からプロジェクト型学習法で実社会や実生活、地域等の中から課題を発見し、設定したり、課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考え、他者と協力して課題を解決する資質・能力を身に付けてきた背景がある。

また、課題の解決に向けて地域の活動を行ってきている。これらの資質・能力を育み続けることで、中学3年生の総合的な学習の時間での重点目標「社会と自分のこと」において自分自身の将来についてや、日々世界や日本で起こっている事象について、俯瞰して捉え、探究しながら自己の生き方を問い続ける力につながっていく。

## (2) 生徒の実態 (35名)

生徒の実態を知り本単元の学習指導に生かすため、明海の街についてのアンケートを行った。その結果が次の通りである。(2025年5月8日実施)

### 明海地区にまつわるアンケート

設問	項目				
(1)	明海の街は住みやすいですか？	とても住みやすい 20人	まあ暮らしやすい 14人	やや暮らしづらい 0人	暮らしづらい 1人
(2)	明海の街に魅力を感じますか？	すごく感じる 19人	まあ感じる 12人	あまり感じない 4人	感じない 0人
(3)	明海の街で過ごす放課後や休みの日は、充実した時間を過ごしていますか？	大変充実している 15人	まあ充実している 15人	あまり充実していない 5人	充実していない 0人
(4)	あなたは将来、明海の街に住み続けたいと思いますか？	思う 11人	やや思う 13人	あまり思わない 6人	思わない 5人
(5)	あなたは最近街のイベントや行事に参加していますか？	している 5人	まあまあしている 7人	あまりしていない 12人	していない 11人
(6)	(5)の理由を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ拾いなど周知されていないから。</li> <li>・ラジオ体操などやらなくなっているマンションが増えたから。</li> <li>・私たち(中学生)が参加したいと思うようなイベントがないから。</li> <li>・小学生までは学校で参加していたが、中学に入るとそのような機会が減ったから。</li> </ul>			

アンケートの結果を見ると、本学級の生徒は明海の街の魅力や生活に対して、肯定的な生徒が多く、放課後や休日なども自らの住む街で過ごすことも多いように思える。また、将来的に明海の街に住み続けたいと考えている生徒も多いと感じる。

しかし、街のイベントや行事についての参画意識については、参加したい意欲はう

かがえるものの、自ら参加している生徒は少ないように感じる。また、地域とのかかわりが軽薄になってきている記述が多い。

その原因は、自分の住む街について、地域の良さと、課題を把握し、その課題を解決するために、調べるだけの学習活動をして終えるのではなく、この総合的な学習の時間を機会に、地域の方々などの協力を得ながらつながりを深め、体験活動などを通して、より地域の魅力や将来的に生徒自身が関わられるような課題解決や情報発信をする。そうすることによって地域の魅力を再発見し、積極的に社会に参画しようとする態度を育みたいと考える。

### (3) 指導観

本時では、自分の住む街について、「地域のよさ」に調べたい思いをもたせ、第一段階を「課題の設定」の場面とする。また、情報以上の「地域のよさ」にふれられるような探究的な学習のスタートとなるようにする。課題の設定については、生徒の思考の流れがスムーズになるように発問の仕方を工夫したり、思考ツールの活用をしたりすることで、生徒の思いが組み込まれた課題設定となるよう配慮し、教師主導とまらないよう留意する。

第二段階の情報収集の方法として、「体験的情報収集」を大事にしていく。本やインターネットなどでの情報収集の機会も持たせるが、インタビューやゲストティーチャーとフィールドワークなどをしながら関わることで知り得る情報収集を重要視させるようにする。生徒にとっては、本やインターネットの情報が多いことや信頼性の判断の難しさから選択していくことが難しい実態もある。専門家でもあるゲストティーチャーからの情報収集の方が、よりわかりやすく、受け取りやすい情報であり、「生の声」を大事にするためにも、積極的に取り入れるようにする。また、学習教材の浦安市についてよく知るゲストティーチャーとの関わりを通して、地域とそこに住む人の思いを知ること、地域や社会とのつながりを考えられるようにする。

第三段階の情報の整理・分析・考察の方法として、探究的な学習の途中段階での「ミニ発表会」を活動の中に取り入れる。対象を同クラスとして「ミニ発表会」を行うことで、自分の課題を整理したり、同クラスから助言や称賛をもらったりすることで、さらによりよい表現活動とするためにどのようにしていけばよいかについて意欲的に考える。

第四段階のまとめ・表現の方法として、生徒と共に「誰に」「どのように」伝えるか、学習の初めの段階で決定する。伝える対象を確認し決定することで、対象を意識していく。今回は生徒から「地域の人に伝えたい」という意見が出るように、教師が生徒へ日頃の声かけの中で意識していきたい。ミニ発表会は対象を同クラスとするが、最終プレゼンテーションの対象は、地域の大人とする。自分の成長を認めてもらえるようにしていく。

単元を通して、教師による形成的評価の適切なフィードバックと生徒の自己評価の充実を図るため生徒と教師が共有する「学習履歴」(別記参考資料)を作成し、探究的な学習をしていく。学習履歴を、総合的な学習の時間のポータルファイルとして使用し、生徒の学習活動の足跡や学習履歴がわかるよう形式を工夫する。

また、振り返りでは学習履歴図(毎時間の学習のふりかえりを記入していく形式)を活用する。生徒の日頃の学習活動への取り組みの変容が視覚的にも把握できる。教師の学習履歴図を通した形成的評価も意識していく。

#### 配慮を要する生徒への支援

- ・生徒 A 意欲的に学習活動に参加することはできるが、教師の指示を正しく聞き取

ることが難しい場合があるので、適宜確認しながら学習を進める必要がある。

- ・生徒 B 今年度海外転入してきた生徒であり、意欲的に学習に参加することはできるが、日本語の言語能力が低く、発表や聞き取りが難しいので、タブレットの翻訳機能などを使用する必要がある。

### 3 単元の見聞

(1) 「明海の街の魅力」を調べたり、整理したりすることで、地域の様々な立場の人が支え合い、協力し合っていることを理解することができる。

(知識及び技能)

(2) 自分たちを取り巻く地域や社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしながらか課題を見出すことができる。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 調査する中で、地域には様々な現状や問題があることを理解している。 【知識】	① 自分たちを取り巻く地域や社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしながらか課題を見出している。 【課題の設定】	① 探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 【自己理解】
② 家族や地域の方々から、手段を選択しながら情報を収集する技能を高めている。 【技能】	② 他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。 【情報の収集】	② 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 【他者理解】
③ 毎時間の探究的な学習を振り返り、自己評価したことを学習や生活に生かそうとしている。 【探究的な学習の良さ】	③ 調べたり考えたりしたことを論理的にまとめ、相手や目的、意図に応じた表現方法をしている。 【整理・分析】	③ 自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 【主体性】
	④ 振り返りの視点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。 【まとめ・表現】	④ 自他のよさを生かしながらか他者と協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 【協働性】
	⑤ 学習の見通しをもちな	⑤ 探究的な活動を通して、

	ながら、自分なりに学習計画を立てている。 <b>【自己調整力】</b>	進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。 <b>【社会参画】</b>
--	--	--

### 5 指導と評価の計画（30時間扱い）

小単元名（時数）	ねらい・主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 明海の街の魅力とは何だろう。（5） <b>【課題の設定】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明海の街の良さをもっと詳しく知るためにどのようにしたらよいかグループごとに考える。</li> <li>グループごとに課題を設定する。</li> <li>思考ツールを使いながら、明海の街の魅力について調べたいことを決めて、学習計画（企画書）を立てる。</li> </ul>	①	①	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>発言分析</li> <li>行動観察</li> </ul>
2 街に関わる様々な情報を調べたり、聞いたりしてみよう。（15） <b>【情報の収集】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の収集の仕方には様々な方法があることがあることについて全員（グループ）で意見を出し合いながら確認し、調査方法や検証計画を立てる。</li> </ul>	①			<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>発言分析</li> <li>行動観察</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援コーディネーターに話を聞いたり、質問をしたりして、もっと詳しく調べる。</li> <li>フィールドワークを行いながら、地域の自治会の方々や、市役所の方々にインタビューしたりする。</li> <li>ゲストティーチャーや地域のことについて詳しい方を迎えて、インタビューをしたり、オンライン会議をしたりする。</li> <li>調べていく中で、もっと知りたいことがあったときは、手紙やメールなどで詳細を聞き取ったりして関わる。</li> </ul>	②		③	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>発言分析</li> <li>行動観察</li> </ul>
3 集めた情報で明海の街の魅力を見出そう。（10） <b>【整理・分析】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本単元の目標についてもう一度全体で再確認し、クラス発表会に向けて始動する。</li> <li>自分の調べてきたことや情報収集したことを元に、クラス発表会の準備をし、発表する。</li> </ul>		③	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>発言分析</li> <li>行動観察</li> <li>成果物</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス発表会を通して、改善すべき内容を見直し、さらによりよい発表にするために整理する。</li> <li>・ さらに調べたい内容があれば、再度調べる。</li> <li>・ 発表会前にふりかえりを行い、自分自身の成長を見つめなおす。</li> </ul>	③	④	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 発言分析</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 成果物</li> </ul>
4 明海の街の魅力を様々な人に発信しよう。 (5) 【まとめ・表現】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス発表会を生かして、自分の表現方法でわかりやすくまとめる。リハーサルをして、練習をする。</li> <li>・ 発表会では地域の方や保護者等、大人の方に聞いてもらう。(オンライン含む)</li> <li>・ 単元全体の振り返りを行う。</li> </ul>			③ ⑤ ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 発言分析</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 成果物</li> </ul>

## 6 本時の指導 (15 / 30)

### (1) 本時の目標

(まとめ・表現)

- ・ 自他のよさを生かしながら他者と協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

### (2) 本時の展開

時配	主な学習活動	支援 (・) と評価 (●)	資料等
3	1 これまでの学習 (前時間までの課題への取り組み) を振り返り、どのような工夫があったか出し合う。  2 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表がしやすいように、座席は自分と同じ班の生徒が近いようにする。</li> <li>・ ICT 機器で発表掲示することで、それぞれのプロジェクトについて把握することができる。</li> <li>・ こちらからめあてを提示するのではなく、生徒に本時に学びたいことを尋ねることで、主体的に活動できるようにする。</li> <li>・ 活動内容は班ごとに授業前に黒板に記載させる。</li> </ul>	・ICT 機器
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; color: red;">             グループの課題の調べ学習をしよう。           </div>			

45	<p>3 それぞれの班で情報の収集を行う。</p> <p>インタビューグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーにインタビューする。</li> <li>・前回と今回での聞いたことの整理。</li> <li>・次回どのような人に何を聞くか質問を考える。</li> </ul> <p>タブレット調査（アンケート作成）グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題についてインターネットで調査する。</li> <li>・前回と今回での聞いたことの整理。</li> <li>・次回どのような人に何を聞くか質問を考える。</li> </ul> <p>図書館調査グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館に行き、調査に使える本を探す。</li> <li>・次回どのような人に何を聞くか質問を考える。</li> </ul> <p>スケジュール（企画）再考グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方に相談しながら、これまでの調査や企画を見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班での調べ学習が始まると、全体に向けた一斉指導の時間が少なくなるため、必ず板書に何時間目の活動か、各班がどのような活動を行っているか書くようにする。</li> <li>・ 本時は情報の収集が活動の中心であるため、めあてを確認し、できるだけ早く班ごとの探究活動となるようにする。</li> <li>・ インタビューの撮影の際の約束事は必ず行う。相手に許可を取るように情報モラルに関しての指導を事前に行い、撮影を行う。</li> <li>・ ゲストティーチャーとかわる際は、基本的に教師はやり取りに入らず、生徒が主体でかわられるようにする。</li> <li>・ タブレットは基本的に Teams 内で情報を共有し、班で協働できるようにする。</li> <li>・ アンケート（Forms）の作成方法を事前に指導しておくことで、スムーズに作成出来るようにする。</li> <li>・ 図書館司書と事前に課題を共有することでスムーズな調査ができるよう、蔵書を確認しておく。</li> <li>・ T2 が引率し、図書館の利用法など指導する。</li> <li>・ 基本は生徒主体にスケジュールなどを決めさせるが、教師が確認などを行い、カリキュラムを見ながらアドバイスする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT カート</li> </ul>
----	--	---	---

2	4 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回に向けた、振り返りや改善点を記入するように促す。</li> <li>● 自他のよさを生かしながら他者と協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。【主体的③】</li> </ul>	・ ワークシート
---	---------------	--	----------

(3) 板書計画

<p>プロジェクター Teams内1年A組 総合のページを 映す</p>	<p>〈今日の活動〉</p> <p>1班↓インタビュ 2班↓タブレットで調査 3班↓アンケート作成 4班↓インタビュ 5班↓タブレット調査 6班↓図書館調査 7班↓アンケート作成 8班↓スケジュール再考 9班↓インタビュ</p>	<p>調べ学習をしよう その⑤</p>
--	--	-------------------------

(4) ワークシート

- 別添資料 (1) 明海中学校探究 記録ノート  
(2) 明海中学校探究 プログラム教科書

# 明海中学校探究 記録ノート

プロジェクトタイトル

年 組 番氏名 \_\_\_\_\_



**5、疑問に思うこと、調査する必要があることを書き出そう**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**6、専門家やプロジェクトに関連するの方からどのように聞くか、どのような内容を聞くか。**

.....

.....

.....

**7、活動の順序を考えて、プロジェクトの計画を立てよう**

(このプロジェクトの時間 時間)

①	.....	( 時間)
②	.....	( 時間)
③	.....	( 時間)
④	.....	( 時間)
⑤	.....	( 時間)
⑥	.....	( 時間)
⑦	.....	( 時間)
⑧	.....	( 時間)
⑨	.....	( 時間)
⑩	.....	( 時間)

**8、どの教科とつながりがあるか(プロジェクトの関連性)**

.....

.....

.....

**9、担任サイン・関連する教科担任のサイン(コメント等)**

.....

.....

.....

**このページはウェビングなど思考ツールを使って、仲間とプロジェクトのテーマやゴールを考えるページです。**



# 生きるために必要な力

3つの力	評価の観点	具体的な力
自律	自分にとって大切な問題を見つける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆物事を比べて、どんなちがいや関係があるのか考える。</li> <li>◆いろいろな人との関わりを通して問題を発見する。</li> </ul>
	見通しを立て、計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目標を設定する。</li> <li>◆計画を立てる。</li> </ul>
	自分のやってきたことをふり返り、調整する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目標に照らして、計画の進み具合をチェックする。</li> <li>◆計画の進み具合に応じて必要な調整を行う。</li> </ul>
活用	言葉、数、図表などを効果的に活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いろいろな人と関わって情報を収集する。</li> <li>◆言葉や数や図を使って効果的にまとめる。</li> <li>◆適切に表現・発表する。</li> </ul>
	知識や情報を効果的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目的に応じて情報を収集する。</li> <li>◆教科で得た知識を活用する。</li> <li>◆知識と情報を整理する。</li> </ul>
	技術を効果的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆機器(コンピュータ、ビデオ、カメラなど)を活用して情報を収集する。</li> <li>◆機器を活用して効果的に表現・発表する。</li> </ul>
協働	互いに考えや意見を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の意見や考えをわかりやすく相手に伝える。</li> <li>◆相手の意見や考えをしっかりと聴く。</li> </ul>
	相手のことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆他の人の考えを受け入れる。</li> <li>◆他の人の立場に立って状況を想像する。</li> </ul>
	自分の力を発揮して協力する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆異なる意見も大切にして決定する。</li> <li>◆問題解決や探究活動を協同して行う。</li> </ul>

# 学習履歴図

プロジェクトのゴール

身に付けたい力

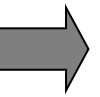
活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

---



活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

---



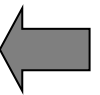
活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

---



活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

---



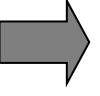
活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

---



活動内容 \_\_\_\_\_  
(振り返り)  
月 日

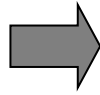
---



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

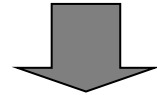
月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

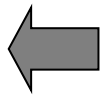
月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

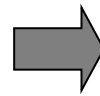
月 日

.....

活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

月 日



活動内容\_\_\_\_\_

(振り返り)

月 日

# プロジェクトを振り返って

A large rectangular box with a solid black border, containing ten horizontal dotted lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the box, providing a structured area for text entry.

令和 7 年度

# 明海中学校探究 プログラム教科書

年 組 番氏名\_\_\_\_\_

# 第1章

## 総合的な学習の時間とは

総合的な学習の時間とは…

**答えが簡単に見つからない問題**

に取り組んで

**生きるために必要な力**

を身に付け

**自分の生活や生き方を広げる**

ために学ぶ時間です



## 「答えが簡単に見つからない問題」とは

- ◎答えがひとつとは限らない問題
- ◎ひとつの問題をクリアすると次の課題が出てくる問題
- ◎いくつかの教科を組み合わせないと解決できない問題
- ◎ひとりでは解決できない問題

などのことです。

## 「生きるために必要な力」とは

- ◎自律～自分の考えや方法で学習を進める力～
- ◎活用～道具(言葉・知識・情報・技術)を活用して学習を進める力～
- ◎協力～みんなと協力して学習を進める力～

などのことです。

## 「自分の生活や生き方を広げる」ためには

- ◎本当に大切なことをみつけること
- ◎めあてをもち、ふり返りながらくり返し学ぶこと
- ◎希望をもち、夢をかなえるために学び続けること

などが大切です。



# 答えが簡単に見つからない問題とは・・・

総合的な学習の時間では、「答えが簡単に見つからない問題」に取り組みます。  
「答えが簡単に見つからない問題」とはどのような問題なのでしょう。

## ①「答えがひとつとは限らない問題」

世の中にある様々な問題は、答えがひとつとは限りません。いろいろな方法があるもの、どれを選んでも正しいと思われるもの、なかなか答えが見つからないものなどいろいろです。

たとえば、「きれいなまちにするためには」という課題では、次のような解決方法が考えられます。

- ・花を植えてきれいなまちにしよう
- ・みんなでゴミ拾いをしてまちをきれいにしよう
- ・トンネルの壁に絵を描いてきれいなまちにしよう

このようにいろいろな答えが見つかります。簡単には解決できないことに、しっかり向き合い、自分で取り組むべき課題を見つけることが大切です。

## ②ひとつの課題をクリアすると次の課題が出てくる問題

たとえば、上の課題で「花を植えてきれいなまちにしよう」を選んだとします。すると次のような新しい課題が生まれてきます。

- @花を植えたけど、この花はいつまで咲いているんだろう？
- @花を植えた後の水やりはどうしていけばいいんだろう？
- @肥料とかは必要ないのかな？
- @自分たちが卒業した後、この花は誰が世話をしていくのだろう？

このようにとことん追究する学びを「探究的な学び」といいます。

### ③いくつかの教科を組み合わせないと解決できない問題

問題を解決していく中で、「ああ、教科で学んだことはこうやって使うんだ」という発見があるでしょう。また、いくつかの教科で学んだことを組み合わせないと解決できない問題もあります。たとえば、先ほどの課題では、次のようなことを考える必要があります。

- @花を植える花壇の大きさや必要な土の量(数学)
- @花の咲く時期や育て方(理科)
- @色の組み合わせによる効果(美術)
- @植えた花を紹介する札の作成(国語・英語・技術家庭)

いろいろな教科で学んだことを活用して、粘り強く解決しようとするのが大切です。

### ④1人では解決できない問題

身近な地域社会の課題を解決しようとするときに、1人では解決できない問題がたくさんあります。同じ課題を持つ人とチームを組み、お互いの考えや意見を出し合い、見通しや計画を確かめ合いながら進めると、1人ではできない大きな課題を解決できます。みんなの考えを受け入れ、自分の得意なことを引き受けて問題の解決や探究活動を協同で行うと、新しいものを生み出す大きな力になります。

# 「生きるために必要な力」とは

総合的な学習の時間で身に付ける「生きるために必要な力」とは、次のような力のことです。

## 自律～自分の考えや方法で学習を進める力～

- ・自分にとって大切な問題を見つけることができる
  - ・見通しを立て、計画を立てることができる
  - ・自分のやってきたことをふり返り調整することができる
- などのことです。

## 活用～道具(言葉・知識・情報・技術)を活用して学習を進める力～

- ・言葉、数、図表などを効果的に活用することができる
  - ・知識や情報を効果的に活用することができる
  - ・技術を効果的に活用することができる
- などのことです。

## 協力～みんなと協力して学習を進める力～

- ・互いに考えや意見を出し合うことができる
  - ・相手のことを考えることができる
  - ・自分の力を発揮して協力することができる
- などのことです。

# 「自分の生活や生き方を広げる」とは

自分の生活や生き方を広げるためには、次のようなことが大切です。

## 自分や社会にとって本当に大切なことを見つけること

自分自身を振り返ってみたり、自分の住んでいるまちや身のまわりの人々に目を向けたりしてみましょう。そして、「こんなふうになるといいな」とか「もっとこうしたい」と思う事があれば、実現できるように努力しましょう。きっとそれが、あなたにとって「本当に大切なこと」になるでしょう。

## めあてをもち、振り返りを繰り返し学ぶこと

ものごとを実現するためには、めあてをもち、ふり振り返りながら(内省)、よく考えて(熟考)、次に何をすればいいかをはっきりさせる(反映)ことが大切です。めあてにどのくらい近づいたかを楽しみながら、いろいろな問題にチャレンジしましょう。

## 希望をもち、夢を叶えるために学び続けること

総合的な学習の時間にチャレンジすることを通して、将来の夢やつきたい仕事が見つかったらうれしいです。いろいろなことにチャレンジして、自分の新しい力やそれを実現するための自信をたくさん身につけましょう。

# **第2章**

## **PBL 学習法の進め方**

# テーマを決めについて

プロジェクトとは、「頭と手と心」を使って、問題を解決したり、成果を出したり、ものをつくったりすることです。最初の作業は、「テーマを決める」と「アウトラインを描く」の2つです。

この2つは、両方を行ったり来たりしながら同時に進めるとよいものになります。以下に標準的な手順を示しますので、参考にしながら進めましょう。

## 手順①

### 話題や題目を選ぶ。

- ・あなたが、今、興味をもっていることはなんですか？
- ・あなたが、今、関心をもっていることはなんですか？
- ・あなたが、今、やってみたい、調べてみたいと思っていることはなんですか？
- ・あなたが、今、身の回りや社会のことで気になっている問題がありますか？
- ・よいトピックを選ぶことが、よいプロジェクトにするための第一歩です。

話題・題目=今、自分にとって最も興味や関心があること

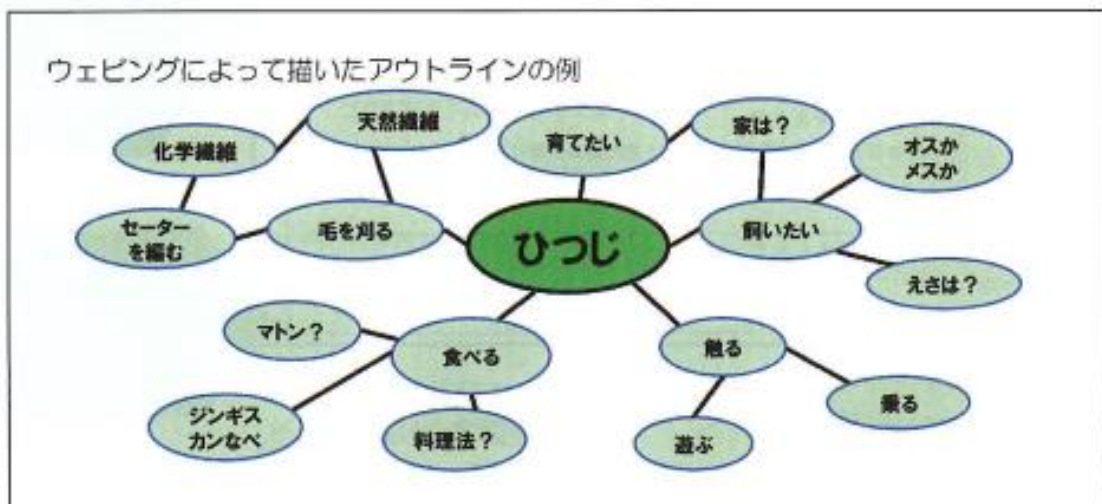
## 手順②

# ウェビングでアウトラインを描く

次は、「プロジェクトのアウトライン」を描きます。これは、プロジェクトに関係することがら全体を描き出す作業です。その一例として、「ウェビング(くもの巣)」という方法を紹介します。

ウェビング=連想ゲームのように自由にアイデアを広げる方法

下の図は、「ひつじ」をトピックに選んだ場合のウェビングです。思いついたことを加えていきます。これを参考にして、一人でまたはグループでチャレンジしてみましょう。

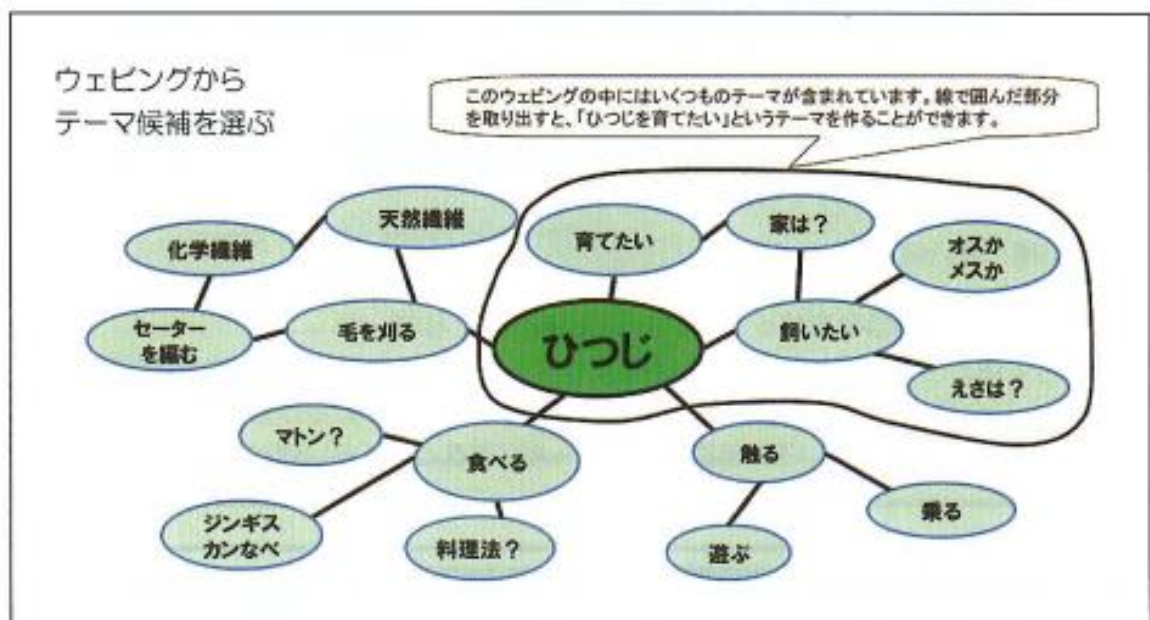


## 手順③

# テーマの候補を選ぶ

ウェビングをしてアウトラインが見えてきたら、どんなテーマにするか決めましょう。ウェビングの中には、テーマの候補がたくさんあります。この中から、あなたが「やってみたい」「あきらめずに最後まで取り組めること」などと思うことを取り出しましょう。

図では、いくつかの候補の中から「ひつじを育てたい」を選んだことにこのウェビングの中にはいくつものテーマが含まれています。線で囲んだ部分を取り出すと、「ひつじを育てたい」というテーマを作ることができます。



## 手順④

### 公式にあてはめてテーマを完成させる

よいテーマにするためには、公式があります。基本は、「何を(トピック)」+「どうしたいか(活動)」の組み合わせです。この公式をもとにすると、さらに次のような公式も考えられます。

#### LV1⇒「話題・題目」+「活動」

例)・ひつじを育てよう

・ひつじの毛を刈ってセーターを作ろう。

#### LV2⇒「形容詞+話題・題目」+「活動」+「副詞+活動」

例)・丸々太ったひつじに育てよう

・羊が寒くないような家を造ろう

#### LV3⇒自由に組み合わせ、工夫する

例)・柔らかい羊の毛を使って、みんなが喜ぶようなセーターを編もう

・街の街路樹の根本に花を植えて明るくしよう

# プロジェクトのゴール設定や探究の進め方

## 手順①

### ゴールを決めよう

ゴールがはっきりしていると、自分の位置が分かり、プロジェクトの進み具合が変わります。プロジェクトが終わったときに、全体を振り返るのにも役立ちます。できるだけ具体的にゴールを決めて振り返りながらプロジェクトを進めましょう。

**ゴール＝「何がどうなればよいか」を決めたもの**

**おすすめの表現:○○が□□したらゴール**

(よい例・悪い例)

- みんなでひつじを飼って、赤ちゃんが産まれたらゴール
- ごみひろを呼びかけて、参加者が100人になったらゴール
- ×プロジェクトが成功したらゴール(どうなれば成功したかが分からない)
- × テーマについていろいろ調べたらゴール(何をどのくらい調べるかが分からない)

## 手順④

# プロジェクトの意義を考えよう

自分で好きなことに取り組むと、自分にとってはいいことがたくさんあります。でも、それが周りの人や自分の町、さらに社会の役に立てば、取り組む価値はもっと大きくなります。

次の2点を考えながらテーマを選ぶとよいでしょう。

### 1.自分にとってどんないいことがあるか

### 2.まわりの人や社会にとってどんないいことがあるか

(例)テーマ:ブレイクダンスの歴史と技を調べる

自分にとって→好きなブレイクダンスについてくわしくなる

みんなにとって→ブレイクダンスのおもしろさをみんなが分かる

テーマ:まちの商店街のマップを作る

自分にとって→インタビューによって商店街の人と知り合いになれる

みんなにとって→商店街に大勢の人が来るようになりまちが栄える

## 手順⑤

### 疑問に思うこと、調べる必要があることを書き出そう

ゴールを達成するために、調べることを書き出します。

この段階は、どれから始めるかの順番については気にせずに思うことをどんどん挙げていきましょう。また、この段階で立てた計画は変えられないものではなく、活動の途中で変えてもいいのです。

〔例〕街路樹の根もとに花を植えて、まちを明るくしよう

- ・図鑑などで花の種類、咲く時期、色、値段などを調べる
- ・花の苗を買う
- ・土を耕し苗を植える
- ・いっしょに世話をしてくれる人をさがす
- ・花の値段を確かめ、予算を立てる

※最初に行ったウェビングの中にもヒントがたくさんあります。

## 手順6.

### 実在の人物から入手する情報の内容と方法を考えよう

プロジェクトを進めるためには、できるだけたくさんの情報を集める必要があります。情報を集めるためには、インターネットや本を使うこともできますが、自分たちだけのオリジナルな情報を集めるためには、プロジェクトに関連するの人物に直接会って情報を集めることが大切です。

#### 地域の人々や詳しい方などに会って情報をいただこう

(活動例) 街路樹の根もとに花を植えて、まちを明るくしよう

- ①町の人にどんな花が好きかアンケートする  
⇒歩いている人を書いてもらう。
- ②花の値段を確かめる  
⇒花屋さんに行って店の人に聞く
- ③町の開発の予定について調べる  
⇒市役所に行って担当の人にインタビューする

#### POINT

- ※電話でインタビューするときは、次のことに気をつけましょう。  
「〇〇中学校の△△と申します。～～のことについておたずねしますが、  
今よろしいですか」\*最初に自分の名前を伝える
- ※電話をかける前に用件をメモしておく
- ※敬語を使ってていねいに話す※メモを取りながら聞く
- ※終わったらお礼を忘れない

## 手順7

### 活動の順序を考えて、プロジェクトの計画を立てよう

プロジェクトのゴールに向けて、どのような順番で進めていけばよいかを考えます。そしてプロジェクトのために使える時間を頭に入れて、おおよその時間配分を考えます。

### 活動の順序と時間配分を考えて、途中で修正もあり

例)「街路樹の根もとに花を植えて、まちを明るくしよう」プロジェクトの場合

#### ☆活動例☆

このプロジェクトは、合計(10)時間の学習です	
① 図鑑・本などで花の種類・咲く時期・色などを調べる	(1時間)
② まちの人にアンケートをして、みんなが好きな花を確かめる。	(1時間)
③ 花屋さんに行き、花の値段を確かめる	(3時間)
④ 花の世話を手伝ってくれる人を探してリストを作る	(2時間)
⑤ 花を買い、みんなで植える	(2時間)
⑥ 花に水をやって世話をする	(毎朝1時間)

## 手順 8

### 教科学習とのつながりを考えよう

プロジェクトは、教科で学習したことを生かすとより確かなものになります。また、プロジェクトを進めていくと、教科で学習することをプロジェクトで学ぶこともできます。

**プロジェクト** ⇔ **教科の学習**

(例)「街路樹の根もとに花を植えて、まちを明るくしよう」プロジェクトの場合

**理科**(種類や育て方を調べる)、**美術**(色の配置を工夫する)、**数学**(面積を計算する)、**国語**(紹介文作成)

## 手順 9

### 先生(伴走者)のサインをもらおう

企画書が完成したら、先生からサインをもらいましょう。皆さんがどんなプロジェクトに組んでいるかを知っておいてもらえば、アドバイスや協力、専門家などを紹介してもらうことができます。

先生からのサインは、できるだけ複数の先生からいただきましょう。

**第3章**  
**プロジェクトを成功させる秘訣**  
**&**  
**振り返りシートの記入について**

# プロジェクトを成功させるための秘訣

プロジェクトを成功させるために一番いい方法は、プロジェクトに何回もチャレンジしてみる事です。

でも、ただひたすらチャレンジするだけではなく、次のようなことを考えておくと上達の速度は速くなります。

## ①見通しをもつ

右の図は、「探究のサイクル」を示したものです。ひとつのプロジェクトは、4つのステップによって組み立てられることを示しています。次のプロジェクトに取り組む時は、またこのサイクルをくり返して上達します。このような見通しをもつことが大切です。

このログブックで紹介した「企画書」は、このサイクルがきちんと踏めるよ整理・分析うに構成してあります。

## ②「なぜ?」と考えること

すぐれた追究は、「なぜ?」と疑問をもつことから出発します。この「なぜ?」という疑問に答えられるように、情報を集め整理して自分なりの解答を見つけるようにします。また、追究の途中で次々に新しい疑問が生まれることもあります。それは、追究が深まっている証拠なのです。

## ③仮説を立てて検証する

「〇〇すれば A ムになるだろう」という見通しのことを「仮説(または仮定)」といいます。理科の実験などで、皆さんも仮説を立てることを経験しているはずです。そして、仮説のとおりになったかどうかを確かめることを「検証」といいます。この「仮説—検証」というしくみを取り入れることによって、科学は大きく進歩しました。

プロジェクトに慣れてきたら、この考え方を取り入れ、「こうすればよいだろう」という仮説を立て、「本当によかったか」を検証するようにするとよいでしょう。

(例)・川の水は、下流になればなるほど汚れが増すだろう

- ・お年寄りには、物をプレゼントをするより、話し相手になる方が喜んでもらえるだろう
- ・街路樹に植える花のアンケートをとれば、世話の協力をしてくれる人が増えるだろう

# プレゼンテーションで成功するためのコツ

プレゼンテーションは、自分たちのプロジェクトの成果を大勢の人に伝えるチャンスです。特に、次の点に注意して準備を進めるとよいでしょう。

- ・何を伝えたいか⇒[例]まちのことを本気で考えたこと
- ・だれに伝えたいか⇒[例]このまちに住む大人の人たちに
- ・何のために伝えたいか⇒[例]みんなでまちをきれいにするために

上の3つが決まったら、どんな方法で伝えるかを考えます。プレゼンテーションでは、パワーポイントを使って説明することがよく使われますが、伝える内容に応じていろいろな方法が考えられます。会場の広さや観衆の人数なども考えながら、最もよく伝えられる方法を工夫しましょう。

## 〔プレゼンテーションの方法の例〕

- ・パワーポイントを使って説明する
- ・完成した作品を見てもう(エキジビション)
- ・分かったことを劇や演技で表現する(パフォーマンス)
- ・ポスターや新聞にまとめて紹介する(ポスターセッション)
- ・体験してもらう(触ってもらう、味わってもらう など) など

## おすすめ

プレゼンテーションが終わると、最後に全体のふり返しをしてプロジェクトはひとまず終わりになります。したがって、プレゼンテーションは、聞いてくれた人から振り返りのためのデータをいただくチャンスと見ることができます。そのために、「プロジェクトのゴール」と関係づけて、「プレゼンテーションの評価規準」を用意して配っておくとよいでしょう。プレゼンテーションが終わったら記入していただいた用紙を集めて、プロジェクトのふり返しに役立てます。

# プロジェクトで意識をすること (生きる力を形成する)

生きるために必要な力(例)

3つの力	意識すること	具体的な力
自律	自分にとって大切な問題を見つける。	◆物事を比べて、どんなちがいや関係があるのか考える。 ◆いろいろな人との関わりを通して問題を発見する。
	見通しを立て、計画を立てる。	◆目標を設定する。 ◆計画を立てる。
	自分のやってきたことをふり返り、調整する。	◆目標に照らして、計画の進み具合をチェックする。 ◆計画の進み具合に応じて必要な調整を行う。
活用	言葉、数、図表などを効果的に活用する	◆いろいろな人と関わって情報を収集する。 ◆言葉や数や図を使って効果的にまとめる。 ◆適切に表現・発表する。
	知識や情報を効果的に活用する。	◆目的に応じて情報を収集する。 ◆教科で得た知識を活用する。 ◆知識と情報を整理する。
	技術を効果的に活用する。	◆機器(コンピュータ、ビデオオ、カメラなど)を活用して情報を収集する。 ◆機器を活用して効果的に表現・発表する。
協働	互いに考えや意見を出し合う。	◆自分の意見や考えをわかりやすく相手に伝える。 ◆相手の意見や考えをしっかりと聴く。
	相手のことを考える。	◆他の人の考えを受け入れる。 ◆他の人の立場に立って状況を想像する。
	自分の力を発揮して協力する。	◆異なる意見も大切にして決定する。 ◆問題解決や探究活動を協同して行う。

## 評価をしながらプロジェクトを進めよう

山登りは、自分で行先を決め、地図やコンパスを使って自分の位置を確かめながら、ゴールに向かって進んでいきま評価も、山登りと似ています。ゴールに到達するために、「生きるために必要な力」を使って自分の位置を確かめながら、ゴールに向かって進みます。それが総合的な学習における評価の考え方です。

### 評価の手順

プロジェクトの企画書を作成したら、以下の手順で評価を行っていきましょう。

#### 到達基準を設定する

- ①「身につけたい力」を選ぶ(意識するだけで)  
このプロジェクトを行うことで、伸ばすことができそうだと、伸ばしたいと思うことを『具体的な力』の中から選ぶ(多くても3つまで)。
- ②現在の自分の状態を見つめる  
学んだ力について、現在の自分がどういう状態にあるかを見つめ、「学習前」に書く。
- ③目標のレベルを設定する  
選んだ力をどこまで伸ばしたいかを考える。



#### 活動をふり返りながらプロジェクトを進める

プロジェクトのゴールや身につけたい力をもとにして、その日の活動をふり返り、『学習履歴図』に記入していく。



#### プロジェクトが終わったら、プロジェクト全体をふりかえる

- ①プロジェクトが終わったら、身につけたい力をどれだけ伸ばすことができたかを考え、『成長の足跡』の『プロジェクトを終えて』の欄に書く。
- ②プロジェクト全体をふり返って、思ったことや考えたことを『プロジェクト全体をふり返って』に書く。

